

第2回 生活・文化拠点再整備アーバンデザインガイドライン策定委員会
議事要旨

日時	2022年7月12日(火) 13:30~14:30		
場所	藤沢市役所 本庁舎6階 6-1 会議室		
出席者	委員	東海大学	岩崎 克也教授
		東京農業大学	西田 正徳客員教授
		中央大学研究開発機構	丹羽 菜生機構助教 (途中参加)
		東京農業大学	福岡 孝則准教授
	事務局	藤沢市	企画政策部 宮原部長 企画政策課 三ツ井参事、塩野主幹、小泉課長補佐、上原上級主査、石丸上級主査、沖山主任、太田主任
		株式会社日本総合研究所	
資料	次第 資料1 委員名簿 資料2 ガイドライン策定検討資料2 藤沢市民会館等再整備基本構想		

※傍聴者 2名

※委員会終了後、生活・文化拠点エリアの現地視察を実施

■ 議事内容

1. 開会挨拶

- ・ 事務局：本委員会設置要綱に基づき委員会の開催が成立していることを報告します。なお、一部委員の到着が遅れており、議事の都合上、次第（２）議題から進めさせていただきますようお願いいたします。この先の議事は委員長をお願いいたします。
- ・ 岩崎委員長：承知しました。

2. 議題

（ア）計画上の留意事項等について

- ・ 事務局：（資料２ガイドライン策定検討資料２ p.2～15 を説明）
- ・ 岩崎委員長：ご意見・ご質問はありますか。
- ・ 西田委員：藤沢市の計画なので藤沢市の考え方に基づいて事業を実施するのわかりますが、もう少し広く、湘南エリアという視点から考えられてはどうでしょうか。湘南エリアの中心的存在が藤沢市であり、この生活・文化拠点はそれを象徴する文化の中心です、というぐらいの意気込みがあっても良いのではないのでしょうか。茅ヶ崎、平塚あたりまでに住む人には、やはり藤沢が湘南エリアの真ん中という認識が強いと思います。
- ・ 福岡委員：12 ページ目の都市再生整備計画では今回の事業対象エリアはピンク色になっていますが、これと黄色で塗られている基幹事業との違いはどのようなものでしょうか。
- ・ 事務局：基幹事業とは、社会資本整備総合交付金事業として実施するものになります。市民会館等再整備事業については現状として関連事業という位置づけです。
- ・ 福岡委員：資料の８～11 ページに出ているような計画図を整理して、駅前エリアの骨格を１つの図にまとめられてはいかがでしょうか。湘南エリアとしてのマスタープランは存在しないと思いますが、神奈川県都市計画審議会でも広域での都市構造について図を整理したものががあるので、参考にさせていただければと思います。

（イ）ガイドライン策定の方向性について

- ・ 事務局：（資料２ガイドライン策定検討資料２ p.17～19 を説明）
- ・ 岩崎委員長：ご意見・ご質問はありますか。
- ・ 福岡委員：18 ページのバリアフリーについては、障害の方だけでなく外国人の方や高齢者、子どもを含め全ての方を対象にしていく、という方向性は良いことだと思います。また、最近は「インクルーシブデザイン」という表現もよく使われているので、文言表現は統一されると良いと思いました。ゾーニングのアウトプットについて、通常は３パターン程度のゾーニング案を出して終わりになってしまいがちなので、そうするとエリア全体の構成はあまり魅力的なものにならないことが多いです。第３章のエリアのデザインが終わった段階で第６章のオープンスペースを先に検討し、第４章のアウトプットに反映してはどうでしょうか。単なる色塗りのゾーニング案を脱却して、公園の配置なども含め立体的にイメー

ジできるようなアウトプットが 3 案程度出せると面白いのではないかと思います。

- ・ 岩崎委員長：第 4 章と第 6 章をセットで近づけて、表裏一体で議論するという趣旨と理解しました。なお、バリアフリーなどの文言表現については、行政の中で定められた用語があるかと思うので、それを変えるのは難しいかもしれません。ガイドラインの構成案についてのご意見でした。
- ・ 西田委員：18 ページ目の一番のポイントは、公園や屋外空間も含めて複合化をしっかり行うことの方向付けをするガイドラインにならなければいけないという点だと思います。ゾーニングをしてもゾーンの中でのデザインや処理に偏りがちですが、複合化とは逆の方向性になります。ゾーニングをベースに考えてもいいのですが、あくまで重要なのは複合化をどう導いていくかという点です。また、デザインガイドラインのコンセプトは一通り検討した上で最後に抽出して第 2 章に持ってくるという作り方も良いのですが、第 3 章の検討を始める前に、第 3 回委員会の初回でも良いと思いますが、各委員の考え方をある程度共有しておいた方が良いのではないのでしょうか。委員それぞれに本事業への思い入れがあると思いますので、バラバラに検討するよりも、最初にディスカッションして方向付けをするということも有益と思われる。逆に、「私はこう思う」ということを委員それぞれに共有してもらった上でないと、最後まとめるのは難しいと思います。
- ・ 岩崎委員長：最初にまずブレストするということですね。進め方については、本日いただいたご意見を踏まえ、事務局の方でもう 1 回見直しをお願いできればと思います。今日出たようなお話を早めに事前にお伝えし、委員の皆様と考えておいていただくと良いのではないかと思います。

(ウ) その他

- ・ 岩崎委員長：その他、ご質問やご提案などはありますか。
- ・ 福岡委員：奥田公園、あるいは対象地ではありませんが新林公園について、過去に再整備の方針を検討されたことはありますか。全くのフリーハンドで検討できるのか、あるいはこれまでの経緯で何%以上は変えられないといったことなど、何か考慮すべき前提条件があれば教えてください。
- ・ 事務局：新林公園については、現在のところ再整備の予定はありません。奥田公園については、新林公園を経由した緑の立体性など、都市計画公園としての本来のコンセプトはしっかり維持した上で、さらに機能として向上させる必要があります。あとは駅から来たときに緑の広場があり、その奥に公共施設があるというような、全体としての方向性を守った上での公園の再整備と考えています。
- ・ 福岡委員：例えば奥田公園の面積や用途を変える、あるいは公園の一部に公共施設があったり、他の施設の上部に公園があったりといったようなことも可能性としてはあり得るのでしょうか。
- ・ 事務局：都市計画上の 1ha は必ず都市公園として整備する予定ですが、例えば、構造物の上部を公園にする立体都市公園制度を活用する可能性などは視野に入れて検討したいと考えているところです。
- ・ 福岡委員：藤沢市はウォーカブル推進都市には入られていますか。
- ・ 事務局：現在のところは入っておらず、ウォーカブル関連の計画は特にございません。
- ・ 岩崎委員長：公園を含めて色々な可能性を検討できないかということで、ご意見をいただきました。以上で議題は終了します。進行を事務局にお返しします。

3. 委員長及び副委員長選出

- ・ 事務局：議事進行ありがとうございました。それでは、次第（１）委員長及び副委員長の選出について、委員長は前回の委員会で岩崎委員が互選により選出されておりますが、ご欠席でしたので改めて岩崎委員長にご挨拶をお願いいたします。
- ・ 岩崎委員長：前は体調不良での欠席、失礼しました。東海大学では、都市と建築の関係について研究しています。今回のガイドラインのお話をいただき、大変面白そうなプロジェクトと感じました。奥田公園や浸水対策施設など、議論すべき項目が多岐にわたり、複雑ですが良いプロジェクトになると期待しています。第 7 回の委員会まで活発な議論をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
- ・ 事務局：ありがとうございます。続きまして、副委員長の選出をお願いします。
- ・ 岩崎委員長：副委員長には、西田委員を指名します。
- ・ （異議なし）

4. 閉会挨拶

- ・ 事務局：（閉会挨拶）

以 上